

越前市議会だより

— みんなでつくる 幸せな未来 —

題字は、武生商工高校 道端萌々果さんの書道作品です。

第85号

令和8年(2026年)9月15日(火)
編集・発行：越前市議会

越前市議会 検索

または、
こちらをご覧ください。⇒



未来を担う、新たな顔ぶれ



新議員 22 名の紹介と抱負

任期満了に伴う越前市議会議員選挙が 7 月 12 日に行われ、26 名が立候補し、8 名の新人、1 名の元議員を含む 22 名の新しい議員が決まりました。
※議員番号順に掲載しています。

- ①住 所
②電話番号
③越前市議会の期数
【抱 負】

①栗田部町 28-13
② 090-8965-5446
③1期
【抱 負】
重責ではありますが、越前市民全ての幸せを目指して頑張ります。



いわさか あきひろ
岩坂 昭宏

①上大坪町 30-1
② 090-2120-2643
③1期
【抱 負】
誰ひとり取り残さない、支え合いのまちづくりを目指します。



いのうえ まちこ
井上 真知子

①四郎丸町 23-22-19
② 090-9763-9431
③1期
【抱 負】
外国人問題の深刻化を未然防止。子ども達に安心安全な未来を。



よしざわ たかふみ
吉澤 尚史

①今宿町 1-1-1
② 090-5174-3322
③1期
【抱 負】
地域の声を力に、笑顔あふれるまちづくりに全力で挑みます！



わかみや こういち
若宮 浩一

①家久町 601
② 090-1392-1990
③1期
【抱 負】
地域一筋、地域の声を確かな形に。現場主義で実践します。



きしもと かおる
岸本 馨

①帆山町 17-2-1
② 0778-23-5995
③2期
【抱 負】
議員力から、議会力を高め、本市をもっと住みよくします。



つちだ のぶよし
土田 信義

①栗田部町 32-19-5
② 090-9280-5902
③2期
【抱 負】
現場を歩き、約束を形に。市民と行政の間に壁を作りません。



はた かつひろ
畑 勝浩

①宮谷町 66-36-1
② 090-2373-0771
③3期
【抱 負】
市民の苦難軽減と福祉向上を目指し、一心不乱に取り組んでいきます。



かとう よしのり
加藤 吉則

①西尾町 16-21-18
② 0778-27-2602
③4期
【抱 負】
地域産業をさらに活性化させ、モノづくり都市越前市を確立します。



よしだ けいざう
吉田 啓三

①上太田町 28-12
② 0778-23-1219
③4期
【抱 負】
活力あるまちづくりを目指し、情熱と誠意をもって取り組みます。



おおくぼ けんいち
大久保 健一

①矢船町 2-9-1
② 0778-24-0205
③6期
【抱 負】
長年の経験を生かし、現地現場の姿勢を貫き市民の生活を守ります。



かわさき としゆき
川崎 俊之

①松尾谷町 6-35
② 090-2124-4064
③1期
【抱 負】
長年の行政経験を活かし、今後は議員として市政発展に尽力します。



みつむら ただくに
三田村 忠邦

①牧町 14-21
② 090-2123-7155
③3期
【抱 負】
市民の皆様との意見交換を基に、越前市の幸せを追求していきます。



はしもと やとし
橋本 弥登志

①矢船町 4-1
② 0778-22-3242
③7期
【抱 負】
次代に繋ぐ地域コミュニティを確立し希望と絆の未来を切り拓きます。



かわさき さとし
川崎 悟司

①京町一丁目 1-11
② 080-9002-9480
③1期
【抱 負】
市民の声をまっすぐ受け止め、越前市の明るい未来を共につくります。



たかはし かつゆき
高橋 佳津幸

①千福町 139
② 090-8967-7579
③2期
【抱 負】
「言うべきことを素直に謙虚に」を念頭に活動いたします。



まつもと てるみ
松本 照美

①新在家町 11-11-1
② 080-3046-3371
③3期
【抱 負】
新人議員多数の中、是々非々で市民の負託に応える議会を目指します。



しみず かずのり
清水 一徳

①塚町 31-9
② 0778-22-3118
③7期
【抱 負】
現在、市の将来負担比率は県内最悪である。財政健全化を目指します。



おがた よしのぶ
小形 善信

①堀町 18-24
② 070-8982-6132
③1期
【抱 負】
子どもからシニアまで誰一人取り残さず、生活の不安を解消します。



まえだ としたか
前田 利隆

①神明町 3-25
② 090-3290-4000
③2期
【抱 負】
今期も約束を一つずつ形にし、結果で信頼に応えていきます。



のせ じゅんいちろう
能勢 淳一郎

①国府二丁目 3-15
② 090-1391-5481
③3期
【抱 負】
市民に寄り添い、市民の声を聴き、安心と笑顔の街をつくれます。



おけたに こういち
桶谷 耕一

①平出二丁目 33-2
② 090-2377-3396
③3期
【抱 負】
議長として、市民目線でより開かれた議会を目指してまいります。



すなだ りゅういち
砂田 竜一

7月臨時会 議会人事

委員会名		委 員 名					◎委員長	○副委員長
常任委員会	総 務	◎土田 信義	○若宮 浩一	高橋 佳津幸	松本 照美	大久保 健一		
		川崎 悟司	小形 善信					
	教育厚生	◎畑 勝浩	○前田 利隆	井上 真知子	岸本 馨	加藤 吉則		
		橋本 弥登志	川崎 俊之					
	産業建設	◎能勢 淳一郎	○岩坂 昭宏	吉澤 尚史	三田村 忠邦	清水 一徳		
		桶谷 耕一	吉田 啓三					
	議会運営委員会	◎清水 一徳	○能勢 淳一郎	土田 信義	畑 勝浩	吉田 啓三		
		大久保 健一	川崎 悟司	小形 善信				

一部事務組合	議 員 名		
南越消防組合議会	岩坂 昭宏	前田 利隆	若宮 浩一
	畑 勝浩	加藤 吉則	橋本 弥登志
	清水 一徳	川崎 俊之	小形 善信
	砂田 竜一		
南越清掃組合議会	井上 真知子	高橋 佳津幸	吉澤 尚史
	岸本 馨	三田村 忠邦	能勢 淳一郎
	土田 信義	桶谷 耕一	吉田 啓三
	砂田 竜一		
福井県丹南広域組合議会	岩坂 昭宏	吉澤 尚史	能勢 淳一郎
	畑 勝浩	加藤 吉則	砂田 竜一
公立丹南病院組合議会	高橋 佳津幸	前田 利隆	岸本 馨
	松本 照美	砂田 竜一	
越前三国ポートレース企業団議会	能勢 淳一郎	畑 勝浩	吉田 啓三
	川崎 俊之	川崎 悟司	
福井県後期高齢者医療広域連合議会	畑 勝浩	砂田 竜一	

会 派	議 員 名		◎会長
市民ネットワーク	◎吉田 啓三	前田 利隆	
	吉澤 尚史	土田 信義	
	橋本 弥登志	砂田 竜一	
会派 創至	◎小形 善信	若宮 浩一	
	岸本 馨	三田村 忠邦	
	能勢 淳一郎		
会派 郷創	◎川崎 悟司	岩坂 昭宏	
	井上 真知子	松本 照美	
	清水 一徳		
誠和会	◎川崎 俊之	大久保 健一	
ふくい党 越前	◎畑 勝浩	高橋 佳津幸	
諸派	加藤 吉則 (日本共産党)	桶谷 耕一 (公明党)	

令和8年6月定例会・7月臨時会 本会議 議決結果

6 月 定 例 会 全 会 一 致 の 議 案 等

議 案	件 名	議決の結果
議案第 35 号	令和 8 年度越前市一般会計補正予算（第 2 号）	可決
議案第 36 号	令和 8 年度越前市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 37 号	令和 8 年度越前市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 38 号	越前市市税賦課徴収条例の一部改正について	可決
議案第 39 号	越前市武道館設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第 40 号	越前市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第 41 号	越前市屋内遊び場設置及び管理条例の制定について	可決
議案第 42 号	越前市エコビレッジ交流センター設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第 43 号	越前市駐車場設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第 45 号	専決処分の承認を求めることについて （令和 7 年度越前市一般会計補正予算（第 12 号））	承認
議案第 46 号	専決処分の承認を求めることについて （越前市市税賦課徴収条例の一部改正について）	承認
議案第 47 号	専決処分の承認を求めることについて （越前市都市計画税条例の一部改正について）	承認
議案第 48 号	専決処分の承認を求めることについて （原子力発電施設等立地地域指定による固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について）	承認
議案第 49 号	専決処分の承認を求めることについて （越前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認
議案第 50 号	越前市議会委員会条例の一部改正について	可決

6 月定例会 賛成・反対の双方があった議案（賛成：○ 反対：×）

議 案		会派名 議員名	議決 結果	市民ネットワーク				会派 郷働			会派 未来			会派 創至		誠和会		一志会		地域共生		諸派		
				土田	砂田	吉田	大久保	小玉	川崎	城戸	松本	題佛	安立	能勢	小形	大久保	川崎	佐々木	清水	近藤	橋本	畑	桶谷	前田
				信義	竜一	啓三	恵子	俊一	悟司	茂夫	照美	臣一	里美	淳一郎	善信	健一	俊之	哲夫	一徳	光広	弥登志	勝浩	耕一	修治
議案 第44号	越前市下水道条例等 の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	

議長は採決に加わりません。

7 月 臨 時 会 全 会 一 致 の 議 案 等

議 案	件 名	議決の結果
議案第 51 号	令和 8 年度越前市一般会計補正予算（第 3 号）	可決
議案第 52 号	財産の取得について	可決
議案第 53 号	越前市議会委員会条例の一部改正について	可決
議案第 54 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意

議会の深掘り

6 月定例会で検討した
議案審査の一部をお伝えします

今回の深掘り議案審査

議案第35号 令和8年度 越前市一般会計 補正予算(第2号)

「空き家対策事業」のうち、
空家等対策早期決断支援事業



議案の概要

空き家の除却や家財処分などの費用の一部を補助することで、空き家が傷まない早い段階（3年以内）で自主的に対応する人を応援します。補助対象の空き家は、次のいずれかに該当する住宅で、居住者が死亡した日や転居した日から3年以内の空き家となります。

- 居住者の死亡による空き家
- 居住者の施設入所による空き家
- 居住者の子ども等の家への転居による空き家

補助額は、事業費の1／3で、上限額は次のとおりです。

加算	区分	①
		空き家の解体
相続の弁護士相 談に対する加算	貸し出すための 家財処分	5万円
5万円		10万円

詳細は、市ホームページでご確認ください。



本会議での質疑

空家等対策早期決断支援事業における補助金制度の申請方法の周知は。

7月の市広報紙や市ホームページ、市公式LINE等を活用する。また、高齢者やその家族に情報が届くよう、高齢者施設や死亡届の提出時に補助金制度のチラシを配布予定である。さらに、市外の所有者に向けて、今年度からチラシを送付予定。そのほか、市政出前講座や空き家相談会などのあらゆる機会を活用し、当該制度が速やかに周知されるよう努める。

本事業の効果の評価方法と、今後の予算拡大の検討の方針は。

本事業は、所有者等の空き家発生時の早期決断を後押しし、空き家発生の抑制を図るとともに、市場性のある空き家の売買や賃貸を促進し、除却後の跡地の活用を図ることを目的として事業化した。事業の評価方法は、制度の周知方法、利用状況、空き家の実際の活用や解体の実績、空き家発生の抑制効果などの実績を見て3年の設定で分析・評価を行う。また、早期決断の後押しとなったかどうかについて、利用者や不動産事業者などから聞き

議会だより第84号の補足説明について
2頁 今回の深掘り議案審査①
「本会議での質疑」

モデル校3校（国高小学校、吉野小学校、武生第一中学校）の選定理由は。

令和9年度の全校一斉導入につなげるために、ある程度の学級数があり、保健のシステムや学校の教育相談の体制との連動で、養護教諭部会や教育相談部会と円滑に連携できる所という観点で選定した。また、本市の特徴である多文化共生の観点から、外国籍の児童が在籍する学校をモデル校とし、検証する予定である。

2月25日の本会議での質疑において、右記のとおり質疑が行われました。
その後、3月にモデル校3校として、国高小学校、大虫小学校、武生第一中学校が決定されました。

取りを行う。これらの評価や聞き取り結果を踏まえ、制度の見直しが必要であれば、補助のメニューや金額など、より良い制度に改善していく。

会派 創至
のせじゅんいちろう
能勢淳一郎 議員



紫式部のレガシーの未来への継承

Q 今年度、越前国府の所在地解明に向けた発掘調査はどのように行うのか。

A 9月から、国府跡候補地の一つの正覚寺や総社周辺の空き地等に場所を移し、調査を継続し、越前国府跡の所在地特定を目指す。

Q 紫式部関連の事業は、本年度から始まる「ユネスコ創造都市ネットワーク加盟後の取り組み」の中でどのような位置づけか。

A これまでの紫式部をテーマとした文化活動は、本市の大きな財産であり、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟において高く評価された。紫式部は世界的に著名であり、越前での暮らしに関する歴史は本市独自の貴重な地域資源である。今後もこのゆかりを生かし、観光・文化・創造都市のまちづくりを推進し、市民の誇りの醸成と交流人口の拡大、地域経済の好循環につなげていく。

その他の質問

○ハピラインしきぶ駅開業から3カ月
○災害時の車避難・車中泊避難



誠和会
かわさきとしゆき
川崎俊之 議員



市内の道路維持管理

Q 計画的な道路維持管理体制について、市の見解は。

A 近年の道路維持管理は、その他の自治体でもコストの増大、職員の減少、業者の担い手不足などの課題がある。一定の地域や施設ごとに一体的に管理を行う「群マネジメント」^{※2}という手法の導入を進めている自治体があり、研究を進めていく。



▲国道8号線を修繕している状況

多様な子どもがともに学ぶ教育環境

Q 気がかりな児童・生徒に対する教育補助員を増やすべきだと考えるが、市の見解は。

A 現在 53 名の教育補助員を配置している。特に、小学校入学時の児童の学校生活を安定させ、落ち着いて学習に取り組めるようにするため、低学年生活支援員の増員が必要と考える。市費での教育補助費だけでなく、県の加配教員の配置と合わせて取り組んでいく。

その他の質問

○地域に根差した障害福祉サービス事業
○北陸新幹線駅周辺整備



会派 未来
あんりゅうさとみ
安立里美 議員



元気な高齢者が高齢者を支える体制の今後

Q 本市の要介護認定率は、国や県内各市と比較すると、かなり低く、各種介護予防事業を進めた結果と考える。特に「いきいきふれあいのつどい」への支援が効果を上げている。しかし、近年参加者やつどいの数が減少している。今後の対策は。

A 担い手不足については、重要課題と考える。今後は、地域の実情に応じて無理なく継続できるよう運営方法を工夫し、地域における支え合いの場として、持続可能な形で維持を図る。

空き家における動物繁殖対策

Q 特定空き家に指定されていないが、危険な空き家が町なかで増えている。それらの空き家の中には、各種の動物が繁殖している現実がある。今後の対策は。

A 職員が現地調査を行い、空き家の状態や、周囲に及ぼす影響の程度を確認する。関係部局と情報を共有し、対応を協議する。

その他の質問

○不妊治療
○出産、産後ケア



会派 郷働
かわさきさとし
川崎悟司 議員



有機農業の推進

Q 有機農業の推進を今後どのように進めていくのか。

A 有機農業の推進は、国の戦略や国際的な潮流とも合致する重要な施策である。実践する人材の確保や市民の意識の醸成を進めることで、持続可能な農業と郷土愛の確立を目指す。

ヤングケアラーへの支援

Q 本市のヤングケアラーの人数は。子どもたちを支えるための社会をどう目指すのか。

A 本市においてヤングケアラーに該当する子どもを確認し、支援している人数は、2025 年では 15 人である。学校や福祉、地域など関係機関が連携し、安心して相談できる環境づくりを進め、理解と支援の充実に取り組む。



市民ネットワーク
つちだのぶよし
土田信義 議員



人口減少時代の都市再編
ご近所の底力を狭あい道路・空き家対策に^{※1}

Q 本市は、中心部・郊外を含め、狭い道路が多い。消防・救急・介護・宅配車が通行できないなど、安全・安心を妨げ、不便である。ご近所の底力で、道路用地への寄付を取りまともにも、改善されない。どう考えているのか。

A 多くの要望を受けている。予算に限りがあり、交通量や通学路としての安全性など、優先順位の高いところから工事をしている。

(要望) 狭いから利活用されず、空き家・空き地が増えて、交通量が少ない。鯖江市に比べ、予算が少ない。市長は土木行政の専門家。是非、狭い道路の改善に当たってほしい。

道路橋梁費の比較
(R8当初予算)

越前市 **12.71億円**
鯖江市 **13.56億円**

▲ 鯖江市との比較



6月定例会

一

般

質

問

今定例会では、16 人の議員が 6 月 3 日から 5 日までの 3 日間、一般質問を行いました。
質問項目の中から質問・答弁を要約し、掲載しました。
二次元コードを読み取ると、各議員の録画映像をご覧くださいませ。

土田 信義 議員	6
川崎 悟司 議員	6
安立 里美 議員	7
川崎 俊之 議員	7
能勢淳一郎 議員	7
佐々木哲夫 議員	8
近藤 光広 議員	8
畑 勝浩 議員	8
砂田 竜一 議員	9
小玉 俊一 議員	9
松本 照美 議員	9
清水 一徳 議員	10
橋本弥登志 議員	10
前田 修治 議員	10
大久保恵子 議員	11
題佛 臣一 議員	11

※一般質問を行った順に掲載

用語の解説

※2 群マネジメント

国土交通省が推進する「地域インフラ群再生戦略マネジメント」のこと。技術系職員に限られる中でも、的確なインフラのメンテナンスを確保するため、複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉えることで、効率的・効果的にマネジメントしていく取り組み。

用語の解説

※1 狭あい道路^{きょう}

主に建築基準法第 42 条第 2 項に規定される、幅員が 4 メートル未満の道路のこと。狭あい道路及びその周辺においては、災害時の避難路等としての防災上の課題、当該道路に面した建築物が得られる日照や通風等の衛生上の課題等が問題となっている。

会派 未来
まつもとてるみ
松本照美 議員



中小事業者での育休制度

Q 男性の育休について、どのような制度があるか。

A 出生直後に利用できる「産後パパ育休」と、父母のいずれもが利用できる「育児休業」の2つを国が整備している。

Q 従業員が子どもの看護のために休暇取得した場合、中小事業者に対しての助成制度はあるか。

A 国の「両立支援等助成金」^{※4}がある。子の看護休暇制度を整備し、従業員が利用した場合、事業者に対して 30 万円支給される。

Q 中小事業者への周知は。

A 市輝く女性活躍応援団の賛同事業所への情報提供、男女平等オンブッドによる企業訪問に加え、武生商工会議所や越前市商工会等、中小事業者と関わりがある団体が参画する市男女共同参画推進会議等の機会も活用して周知に努める。

その他の質問

- こどもの幸福条例
- 地域子育て支援センター「ピノキオ」の開所日数



会派 郷働
こだましゆんいち
小玉俊一 議員



人口減少時代の課題

Q 過日、2025 年国勢調査の速報が発表され、2008 年の 1 億 2800 万人がピークで、2050 年には 1 億人程度と推定している。今回の国勢調査では、全国の自治体で人口減少や高齢化が想定以上に進んでおり、また高度成長時代に公共施設が整備されており、2030~2040 年に建て替え時期を迎えている。本市でも公共施設管理計画 1 期が今年で終わる。40 年間で施設延べ床面積の 3 割削減を目標にしているが、その中に学校教育施設は 45% を占めている。学校の適正規模・適正配置の検討において、保護者、学校関係者、地域と課題や視点を共有しながら、市の基本的な考え方を整理していくとの所信を述べている。学校の再編を考える上で最重要課題は何か。

A 学校そのものが、児童・生徒を育む教育の場であるということを検討の大前提とし、学びの環境の改善を最優先に考える。また、どのような選択肢にも利点と課題があることを踏まえ、それぞれの地域の実情に応じて、利点を生かしながら課題を最小化する工夫が重要である。

(要望) 児童・生徒を中心に計画を立てていただきたい。



市民ネットワーク
すなだりゅういち
砂田竜一 議員



真の共生社会の実現に向けた障がいを持つ人への支援

Q 障がい者支援に係る本市の条例の理念を踏まえ、「真の共生社会」の実現に向け、今後どのような方針で支援を進めていくのか。

A 手話言語条例及び情報コミュニケーション条例の理念を踏まえ、「真の共生社会」の実現に向けて、共に支え合う地域社会の形成を基本とした施策の推進が重要である。本年度改定予定の障がい福祉計画等においては、当事者及び関係者に委員として参画いただき、当事者やその家族、支援者の声を丁寧に計画に反映させるとともに、地域全体で支え合う仕組みづくりを進め、誰一人取り残さない共生社会の実現に取り組む。



▲ 出典：市ホームページ

その他の質問

- 就職氷河期世代を含む中高年層への生活基盤支援と将来に向けた市の役割



諸派 (ふくいの党)
はた かつひろ
畑 勝浩 議員



花筐児童館取り壊し事業の進捗状況

Q 令和 3 年 4 月、市から地元区長会に「花筐児童館取り壊しとその跡地を駐車場として整備する」とした回答書が渡されているが、工事は進んでいるのか。

A 見通しや進め方の説明が不十分で、地元の皆様にご迷惑をおかけし、申し訳なく思っている。今後は、跡地を花筐公園の駐車場とするため、整備や管理等について地元と協議を行いながら進めていく。

Q 覚書を作成する際、事業開始日や事業終了の目標期日等を記載し、計画日程を明確にするというのではないか。一般企業では当然の事務手続きとして行われている。

A 案件により条件が変わるため、一律に期日を明確にすることは難しく、かえって市民の不信感を招くおそれがある。市民との信頼関係の構築を念頭に、今後も取り組んでいく。



▲ 花筐児童館

その他の質問

- データセンター誘致に関する課題
- 成年後見制度利用促進に向けた広域連携への加入



用語の解説

※3 UCCN

(ユネスコ創造都市ネットワーク) 2004 年に創設。創造性を核とした都市間の国際的な連携によって地域の文化芸術、産業環境などの発展を図り、都市の持続可能な開発を目指す。創造分野には文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化、建築の 8 つがある。今回の新たな指定により、100 カ国以上、408 都市が加盟。国内からは 12 都市が加盟認定されている。

地域共生
こんどうみつひろ
近藤光広 議員



ユネスコ活用による文化県都の実現

Q 現時点で、ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN)^{※3}の具体的な活用施策はあるか。

A UCCN の理念に基づき、伝統工芸や文化などの資源を活用した取り組みや世界への情報発信を進めていく。具体的には、「書のまちづくり事業」として市内寺院での「現代の寺子屋」の開催、創造都市に関する展示会開催や、モロッコで開催される UCCN 年次総会での本市の発表などを通して、国内外への情報発信を進める。将来的には、アジア加盟国を対象に国際会議の開催を目指したい。

Q 文化財の保護と活用方法の進捗状況は。

A 令和 5 年度からの 3 年間で 4 件の文化財を指定し、9 件の文化財が登録有形文化財に登録された。越前和紙の「越前鳥の子紙」もユネスコ無形文化遺産に登録された。今後も文化財の価値を広く発信し、市民の関心を高めていく。

その他の質問

- 前田利家とのつながりで、金沢と連携した観光誘客策



一志会

ささきてつお
佐々木哲夫 議員



市長のまちづくり方針

Q 自動運転、ユネスコ関連、観光振興、市の施設の改廃や管理運営などを見直し、市民にとって大切な予算の確保を図ってほしいが、市長の考えは。

A 特に令和 8 年度当初予算においては、部局ごとに新規財源の獲得、既存事業の見直し、目標枠の設定などをして、優先順位の整理などメリハリをつけた予算配分を実施した。今年度は、ユネスコ関連の事業に力を入れる一方、課題がある自動運転実証事業については休止することとした。厳しい財政状況の中で、今後も時代の変化と、それに伴う市民ニーズの多様化に対応していくためには、事業の不断の見直しが必要だと考えている。これまで以上に市民との対話を重視し、従前の施策修正や見直しを行い、市全体のコストを見ながら、今後の予算編成に反映していきたい。

その他の質問

- 指定管理者制度の見直し
- 自治振興会と公民館の見直し



表彰

全国市議会議長会特別表彰
北信越市議会議長会特別表彰

前田修治 議員

市議会議員として、35年以上の長きにわたって市政の発展に尽くした功績に対して、表彰状が贈呈されました。本議会では、2人目となります。



会派 未来
だいぶつしんいち
題 佛臣一 議員

孤独・孤立対策の現状と課題

Q 地域で暮らす高齢者が孤立しないための体制づくりについて、今後の取り組みや課題は何か。

A これまで、地域包括支援センターによる相談支援をはじめ、民生委員・児童委員による見守り活動、民間事業者による日用品の移動販売、さらに市が実施する見守りを目的とした「食の自立支援事業」や「緊急通報装置の貸与」などを通じて、高齢者の生活支援と孤立防止に取り組んできた。一方で、人口減少や担い手不足の進行により、地域の支え合い機能は年々弱まりつつあり、すべての高齢者に対してきめ細かな支援を継続していくことには限界がある。今年度、各地区の実態を把握した上で、今後のあり方について地区の皆様と検討していく。



▲ 緊急通報装置

その他の質問

- 文化財保存施設の整備
- 越前市再犯防止推進計画



市民ネットワーク
おおく ぼ け い こ
大久保恵子 議員

情報公開制度

Q 情報公開における営利目的の開示請求に係る料金請求への対応について、単に高額の手数料を徴収するのではなく、多くの自治体が既に実行しているように、対象情報をホームページで公表するなどの手段も考えるべきではないか。

A 市政情報の積極的公開は本市が目指している基本的な方向性である。料金の見直しに限ることなく、他自治体の事例なども参考にしながら、適切な制度になるよう検討を進める。

手話施策推進法の実現に向けた取り組み

Q 手話普及のため、外部から専門知識を有し、本市の手話政策を体系的に指導ができる人を招へいしていただきたい。

A 今後も手話言語条例推進懇話会や本年度改定予定の市障がい福祉計画において、当事者の意見を十分に尊重し、外部人材の招へいを含めた手話の普及や支援の在り方を検討していきたい。



▲ 出典：一般社団法人全日本ろうあ連盟

諸派（日本共産党）
まえ だ しゅう じ
前田修治 議員

市民の暮らしを応援する市政

Q 本年度から国の政策に併せて小学校給食が無償化^{※5}されたが、中学校給食の無償化も早急に実施するべきではないか。

A 給食のように基本的な子どもの福祉に寄与するものは、国が一律に負担することが望ましく、国に強く要望していく。

Q ゴミ出しが困難な高齢者等へのゴミ捨て支援策を制度化できないのか。

A ゴミ出しの実態やニーズについて新たに調査しており、集計と分析の結果を踏まえて福祉計画での施策の方向性を整理していく。

Q 憲法第九条を守り、平和であってこそ基本的人権が尊重され、市民の笑顔が守れるが市長の見解は。

A 憲法第九条は、国を戦争国家から平和国家へとしてきた根幹である。憲法が守られてこそ安全安心な生活があり、憲法は我々国民、市民の生活の基盤であると思っている。

その他の質問

- 義務教育費の無償化
- 加齢性難聴者の補聴器購入費の助成



地域共生
はしもと や と し
橋本弥登志 議員

地区設置の防犯カメラ

Q 市内で何カ所あるのか、課題は。

A 16地区、134台。課題は維持管理費と更新費用である。維持管理費として電気代と電柱使用料などで1台当たり7,500～9,000円/年がかかり、カメラ修繕時の更新費用もかかるなど、地区の負担が大きいという意見を聞いている。

Q 今後の対応は。

A 持続可能な仕組みとなるよう、地域・行政・警察がそれぞれの役割の中で連携し、防犯カメラの適切な設置や活用について努める。



▲ 提供：防災危機管理課

下水道料金

Q 現在の污水处理費用はいくら足りないのか。

A 污水处理にかかる経費は電気代、薬品代、人件費、設備の減価償却費などがあり、現在の使用料の25%ほどに当たる約35円/m³が足りていない。

Q 新料金になるといくら上がるのか。

A 20m³/月の世帯で665円/月の負担増となる。



一志会
しみず かず の り
清水一徳 議員

「明るい」ふるさとづくり

Q ユネスコ創造都市ネットワークの取り組みについて、シビックプライドの醸成を主眼においた政策が重要と考えるが、市の見解は。

A シビックプライドの醸成については、ふるさとを愛し誇りに思う人材を育てることで、「このまちに住み続けたい」という意識の形成につながる。その結果、定住人口の維持・増加を促し、持続可能なまちづくりの実現に資する重要な柱であると考えている。



クラフト&フォークアート創造都市

越前

▲ 提供：文化県都推進課

その他の質問

- 学校の適正規模・適正配置に関する学習会の進め方
- プールの今後の活用



用語の解説

※6 緊急通報装置

病気などの緊急時に、通報ボタンを押すことにより、越前市が委託した警備保障会社や協力員に緊急連絡を入れることができる。また、転倒などで身動きができなくなった時は、人感センサーにより自動的に緊急連絡を行う。市内に住むおおむね65歳以上の在宅でひとり暮らしの人が利用できる。

用語の解説

※5 小学校給食の無償化

令和8年4月から開始した、国による「学校給食費の抜本的な負担軽減」のこと。子育て支援を目的として、公立小学校の児童の学校給食に必要な食材費について、国が地方自治体を支援する取り組み。

委員会で詳しく審査

教育厚生委員会

しきぶ温泉湯楽里
安全と市民ニーズへの対応を

Q 男性浴室の改修内容は。

A 内部のアンカー部分を確認したところ、女性浴室に比べて腐食の進行は認められなかった。

この結果をもとに、県建築士会や県建設技術公社を含めた検討会において、安全に利用するための修繕方法などを検討した。

Q 女性浴室の石タイルを固定するアンカーの腐食が強く進んだ理由は。

A 浴室の構造は男女とも同じだが、女性浴室は山側にあり、風向きによっては天窓から蒸気が押し戻され、浴室内にたまりやすい状況であることが、腐食の一因ではないかと、検討会で協議された。

委員会で審査した議案

- ・市武道館設置及び管理条例の一部改正について
- ・市印鑑条例の一部改正について
- ・市屋内遊び場設置及び管理条例の制定について

その他予算案 2 件

学校の適正規模・適正配置
地域の声を踏まえた検討を

Q 中学校の適正規模・適正配置に関する、先行事例の視察先の予定は。

A 適正規模・適正配置についての学習会での議論を深めることを目的に、参考となる先行事例の視察を行う。

視察先は、学習会での議論を踏まえて、確認すべき論点を整理したうえで決定するが、現時点では新潟県三条市や三重県松阪市などを想定している。

Q 今、取り組みが必要となった理由は。

A 地区関係者が集まる研修会等を通じて、「学校の将来見通しについて、正確な数値を基に示してほしい」との要望を受けている。また、市民が教育環境のことを理解する必要があると判断したこと。あわせて、家庭・地域・学校協議会等から、適正規模・適正配置に関する多様な意見が寄せられてきたことを複合的に勘案し、今回の予算計上に至った。

総務委員会

トイレトラック導入に伴う災害対応力の強化を

Q トイレトラックの導入に関する他市町の状況は。

A 県内では、県や一部の市町で導入が進められており、本市においても導入を進めるものである。

Q 災害時におけるトイレトラックの派遣や支援の仕組みは。

A 全国の災害派遣トイレネットワークに加入することで、他自治体との相互支援が可能となり、トイレトラックに必要な給水や汚水の回収なども含め、運用面の支援を受けることができる。当ネットワークの加入自治体数は、今年度中で57自治体程度にまで増加する見込みである。

(要望) 導入にあたっては、子どもたちへの啓発も含め、多くの市民に周知してほしい。

委員会で審査した議案

- ・市市税賦課徴収条例の一部改正について
- ・令和8年度越前市一般会計補正予算（第2号）



▲トイレトラック写真（福井県導入車両）



▲トイレトラック内多機能トイレ（福井県公式Instagramより）

防災訓練に貸出可能。災害時のトイレ対策を広く周知できる。

クローズアップ徹底検証

産業建設委員会

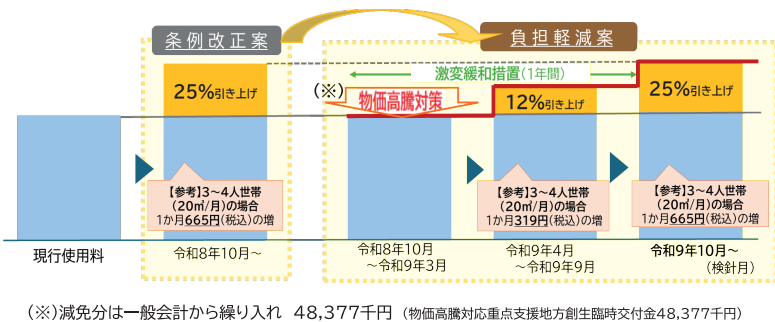
市民負担に配慮した料金改定を

Q 下水道使用料の25%という大幅な値上げは、市民負担が大きいことから、細やかな段階的改定は、検討できなかったか。

A 下水道事業は、一般会計からの補填に依存している状況であること、また、市水道料金・下水道使用料等協議会の答申においては、本年10月から25%の改定が適当とされていることから、市民負担に配慮し、据え置き期間を設けたうえで段階的な引き上げとしたものである。

Q 使用量に応じて単価が上昇する逓増制について、多人数世帯や子育て世帯に負担が偏る恐れがあり、公平性の観点から課題があるのではないか。

A 使用量の増加は、設備費や維持管理費、電力費、さらには環境負荷の増大に直結することから、使用量に応じた負担が基本であり、料金体系の公平性は、この考えに基づくものである。また、世帯構成や所得状況等は、料金制度では把握できないため、支援が必要な場合は、福祉施策で対応するのがよいと考える。



委員会で審査した議案

- ・市エコビレッジ交流センター設置及び管理条例の一部改正について
- ・市駐車場設置及び管理条例の一部改正について
- ・市下水道条例等の一部改正について

その他予算案 2 件

議会活性化特別委員会

本委員会では、議会機能の強化と市民に開かれた議会の実現を目指して次のことに取り組みました。

- ・議会だより編集委員会を再発足し、広報紙のA4版化と全面刷新
- ・議会機能継続計画（議会BCP）の策定
- ・議会における服装の自由化を実施
- ・政策研究会制度を導入し、政策立案機能を強化

・委員会のYouTube配信を開始
また、通年議会の調査研究や広聴機能の強化については、引き続き検討が必要とし、改選後に、議会だより編集委員会を「広報・広聴委員会」へ発展させることを申し送りしました。

公共交通対策特別委員会

本委員会では、これまでの取り組みの総括を行いました。本委員会は、北陸新幹線の開業を見据え、地域公共交通を総合的に調査研究するために設置されました。この2年間では、「予約のりあいタクシー」と「地域支えあい交通」を中心に調査研究を進め、「市地域公共交通計画」の策定に際し、具体的に修正を求めた意見書を提出したところです。本委員会は、令和7年3月に前述の計画が策定され、本市の地域公共交通の今後の方向性が定まったことから、その役割を終えたものという認識で一致しました。

議会モニターが始動



6月23日に委嘱状の交付を行い、令和8年度の議会モニターが始動しました。市民の意見を広く聴取し、議会活動等に反映させることを目的に、公募を含む14人が活動します。1回目の会議では、「初めて傍聴したが、議員の緊張感が伝わってきた。議会を身近に感じた経験を地域でも共有したい。」など意見が出されました。

市議会の活動ニュース

若い力で議会をより身近に 市内高校書道部による議場見学、採決体験



令和6年度から、議会だよりの題字揮毫や議会開催の案内看板の作成を武生高校、武生東高校、武生商工高校の書道部の皆さんにお願いしています。
6月16日に、今年度の揮毫を担当する書道部の皆さんを議長室に招き、揮毫にあたっての思い等をお伺いしました。また、この機会に議会への興味関心を深めていただくため、条例案について電子採決の模擬体験などを行いました。

未来を創る子どもたちが議場を見学



▲南中山小学校（6月16日）



▲武生西小学校（6月26日）



▲岡本小学校（6月30日）



▲花筐小学校（7月2日）

市内の小学4年生の皆さんが議場を訪れました。
児童の皆さんは、市議会の役割などについて各地区の地元議員から説明を受け、活発に質問をし、うなずいたり笑顔を見せたりしながら熱心に学んでいました。

令和7年度・令和8年度（7月分まで）

政務活動費収支を報告します

政務活動費は、地方自治法、越前市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議会機能の充実強化と、議員の政策立案のための活動基盤の充実を図ることなどを目的として、越前市議会議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されています。

政務活動費の交付額及び政務活動費を充てることができる範囲については、越前市議会政務活動費の交付に関する条例に定められています。

詳細は市議会
ホームページ



●交付額

年間720,000円（月額60,000円を四半期ごとに交付）

●政務活動費を充てることができる経費

議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費。

令和7年度 議員別収支一覧表 （令和7年4月～令和8年3月）

議員氏名	支出額(円)	執行率
松本 照美	88,148	29.3%
森本 辰之	6,000	2.0%
能勢 淳一郎	563,428	78.2%
土田 信義	695,362	96.5%
畑 勝浩	695,755	96.6%
近藤 光広	719,751	99.9%
佐々木 哲夫	409,077	56.8%
橋本 弥登志	720,000	100.0%
清水 一徳	192,855	26.7%
桶谷 耕一	250,618	34.8%
砂田 竜一	720,000	100.0%
小玉 俊一	326,057	45.2%
吉田 啓三	194,480	27.0%
川崎 俊之	710,938	98.7%
題佛 臣一	503,841	69.9%
安立 里美	485,043	67.3%
大久保 恵子	555,387	77.1%
小形 善信	370,440	51.4%
川崎 悟司	646,136	89.7%
城戸 茂夫	71,973	9.9%
前田 修治	33,528	4.6%
大久保 健一	58,200	8.0%
合計／平均	9,017,017	57.7%

令和8年度 議員別収支一覧表 （令和8年4月～7月）

議員氏名	支出額(円)	執行率
松本 照美	240,000	100.0%
森本 辰之	0	0.0%
能勢 淳一郎	4,800	2.0%
土田 信義	240,000	100.0%
畑 勝浩	240,000	100.0%
近藤 光広	16,480	6.8%
佐々木 哲夫	236,125	98.3%
橋本 弥登志	240,000	100.0%
清水 一徳	4,800	2.0%
桶谷 耕一	96,200	40.0%
砂田 竜一	98,000	40.8%
小玉 俊一	219,039	91.2%
吉田 啓三	4,800	2.0%
川崎 俊之	48,800	20.3%
題佛 臣一	181,669	75.6%
安立 里美	240,000	100.0%
大久保 恵子	240,000	100.0%
小形 善信	20,477	8.5%
川崎 悟司	132,939	55.3%
城戸 茂夫	17,631	7.3%
前田 修治	23,225	9.6%
大久保 健一	13,578	5.6%
合計／平均	2,558,563	48.4%



支え合いで築く 住みよい地域

議会モニター
やの えいこう
矢野 栄幸さん
(越前市自治連合会)

私は自治連合会や地区自治振興会の運営に携わり、地域行事にも参加しています。近年は地震や豪雨などの災害が多発し、少子高齢化や物価・社会保険料の高騰が続く中で、地域住民の助け合いや地域支援、市政との協働の重要性を強く感じています。

議会を傍聴して、議員それぞれの問題意識や熱意の違いを感じるとともに、市民目線に立った議論が深まることを期待しています。

また、越前市の豊かな自然や歴史、農業や産業基盤を生かし、若い世代が移住し、住み続けたいと思えるまちづくりを願っています。

みんなの声

日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
議会モニターさんの声を聴きました

次の世代へ繋ぐ 地域づくり

議会モニター
うえじま なるみ
上嶋 成美さん
(越前市女性会)



地区の女性学級や越前市女性会の活動を通して、多くの方々の考えや悩みに触れ、私自身も学びを重ねています。

議会モニターとしては、女性会の代表として選出されていることを意識し、女性議員の一般質問を中心に議会の様子を拝見しています。多様な視点や市内各地域が抱える課題を知る貴重な機会となっているほか、意見交換を通じて、市政への理解も深まりました。

若い世代が安心して暮らし、伝統や文化が次世代へ受け継がれていくまちであることの大切さを改めて感じています。これからも地域の皆さんとの繋がりを大切にしながら、地域活動に取り組んでいきたいと思っています。

9月定例会は

10月16日(金)まで

詳しい会期日程は、
ホームページをご覧ください。



議会中継

こしの都ネットワークや、インターネット、スマートフォンでもご覧いただけます。

こしの都ネットワークで議会中継を見るときは、「092チャンネル」です。

インターネット、スマートフォンで見るときはこちら →



市議会ホームページ

委員会のインターネット配信

定例会中の委員会について、配信を見るときはこちら →



市議会公式チャンネル

議会だより編集委員会

◎委員長 ○副委員長

◎畑 勝浩 ○吉澤 尚史
井上 真知子 前田 利隆
若宮 浩一 大久保 健一

問 合 先

市議会事務局

TEL (22)3426

感謝 貴重な機会をいただきました。感謝いたします。

れば嬉しく思います。

関心を持つていただけ

ご覧になる方に議会に

ちを込めて書きました。

た表現を生かし、気持

びながら、書道で培

たり、議会の役割を学

今回の題字制作にあ

題字揮毫

武生商工高校3年

道端 萌々果さん

題字揮毫者から
メッセージ

